
MAKING THE IMAGE INTELLIGENT



2024年3月期

決算説明会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2024年5月14日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。



1 2024年3月期 決算説明

2 2025年3月期 通期業績予想

3 課題と取り組み



1

2024年3月期 決算説明

2

2025年3月期 通期業績予想

3

課題と取り組み

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 山本 達夫
資本金	1,838百万円
連結従業員数	65名 (2024年4月1日現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

<h3>IPコアライセンス事業</h3> <ul style="list-style-type: none">AI/GPU IPコアライセンスAIソフトウェアライセンス	
<h3>製品事業</h3> <ul style="list-style-type: none">アミューズメント市場向け画像処理半導体協働ロボット向けビジョンシステムドローン向けカメラモジュール	
<h3>プロフェッショナルサービス事業</h3> <ul style="list-style-type: none">AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発FPGA/ボード受託開発セーフティシステム、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート	

- **売上高は過去最高を更新**
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅増益、**上場来最高益**
- 主にパチスロ市場の活況により、アミューズメント分野売上高が大幅伸長

売上高

3,016百万円

+30%

経常利益

330百万円

11.5倍

アミューズメント分野

2,642百万円

+45%

主にアミューズメント分野、製品事業の伸長により大幅増収増益

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	増減額
売上高	2,322	3,016	+693
営業利益	27	328	+301
経常利益	28	330	+301
親会社株主に帰属する当期純利益	22	331	+308

- アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」に加えて、Cambrianビジョンシステム等、製品事業の伸長により、売上高は29.9%増収
- 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も大幅増益
- 繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額として41百万円を計上

● 事業別売上高

IPコアライセンス事業 **170**百万円 前年同期 261百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンス・サポート収入等を計上

製品事業 **2,758**百万円 前年同期 1,956百万円

- RS1の量産出荷、Cambrianビジョンシステム、量産ドローン向けカメラモジュール等の売上を計上

プロフェッショナルサービス事業 **87**百万円 前年同期 104百万円

- AI/GPU受託開発サービス収入を計上
- セーフティ分野は、ドライブレコーダー向けに加えより広範なセーフティ向けPoC※案件、ロボティクス分野は、ドローン向け、半導体製造装置向け等のPoC案件を含む

● 分野別売上高

セーフティ分野 **71**百万円 前年同期 170百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益（ランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー）、メンテナンスサポート収入、プロフェッショナルサービス売上を計上

ロボティクス分野 **168**百万円 前年同期 185百万円

- Cambrianビジョンシステム、量産ドローン向けカメラモジュール等の製品売上、プロフェッショナルサービス売上等を計上

アミューズメント分野 **2,642**百万円 前年同期 1,821百万円

- RS1の量産出荷売上を計上

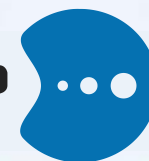
その他分野 **134**百万円 前年同期 144百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、メンテナンスサポート収入等を計上

※PoC：Proof of Conceptの略。新しい概念や理論、原理を本格的に導入する前に行う実現可能性に関する検証・試行のこと

自己資本比率は88.2%と高水準を維持

(単位：百万円)		2023年 3月末	2024年 3月末	増減額	主な増減要因
	流動資産	3,683	3,272	△411	売掛金及び契約資産 △587, 現金及び預金 +167
	固定資産	158	647	+488	投資有価証券 +475
資産合計		3,842	3,919	+77	
	流動負債	700	443	△256	買掛金 △356
	固定負債	17	18	+0	
負債合計		717	461	△256	
純資産合計		3,124	3,457	+333	利益剰余金 +331
負債純資産合計		3,842	3,919	+77	



1 2024年3月期 決算説明

2 2025年3月期 通期業績予想

3 課題と取り組み

2025年3月期は6%の増収、営業利益・経常利益の増益を予想

パーパス「Making the Image Intelligent」のもと、「安全安心社会の実現」、「社会課題の解決」に寄与する製品・サービスを創出、提供するとともに、画像処理半導体の安定成長を目指す

(単位：百万円)	2024年3月期 通期実績	2025年3月期	
		通期予想	増減率
売上高	3,016	3,200	+6.1%
営業利益	328	350	+6.5%
経常利益	330	350	+5.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	331	290	△12.5%

- アミューズメント分野：画像処理半導体RS1の安定成長
- セーフティ分野/ロボティクス分野
 - エッジ/クラウド対応AI画像認識技術、SLAM/自律走行技術、Cambrianビジョンシステム等の技術・製品の組み合わせ
 - 本分野で培った独自技術、ビジネス知見、顧客基盤、エコシステムを統合した社会課題解決型新規ビジネスを創出、提供
- その他分野（IP）：GPU IPランニングロイヤリティ等の安定ビジネス基盤に加え、新規GPU/AI IPビジネスを獲得



1

2024年3月期 決算説明

2

2025年3月期 通期業績予想

3

課題と取り組み

Making the Image Intelligent

画像を智能化する

"To create innovative products and services that harness the power of image intelligence to solve real-world problems and drive value for our stakeholders."

画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造する



RS1搭載スラスロ機の販売好調と高い稼働率が パチスロ市場全体を底上げ

業界動向:

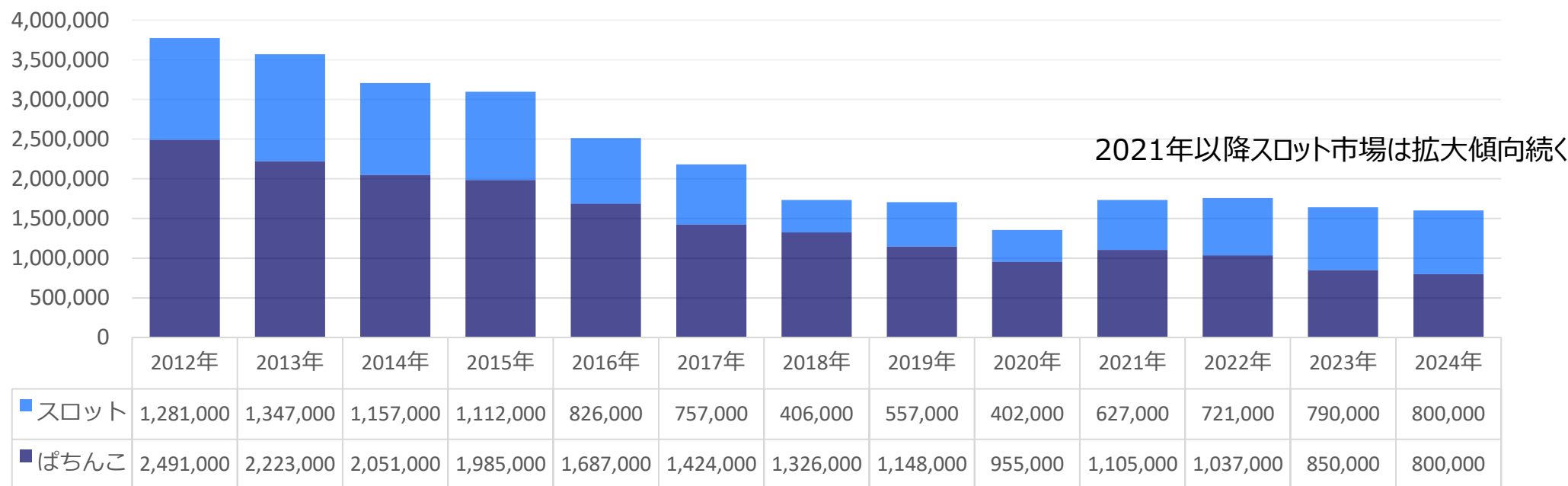
- スロット市場が好調、特にRS1搭載スラスロ機が高い稼働率を記録
- RS1ユーザーのセガサミー社とユニバーサル社がスロットでトップシェアを獲得
- ZEEGの共通筐体の普及とホールのスラスロ設備投資意欲向上でRS1需要が拡大

RS1の優位性:

- 高品質な3D/2Dグラフィックスを提供する業界唯一の統合チップ
- 2Dに加えインタラクティブなリアルタイム3Dによりゲーム性を大幅に向上
- 4Kディスプレイ出力に対応し、迫力ある大型画面筐体の開発を支援
- 将来の規制緩和に備えたネットワーク機能を搭載するなど長期的な投資価値を提供



アミューズメント販売台数推移

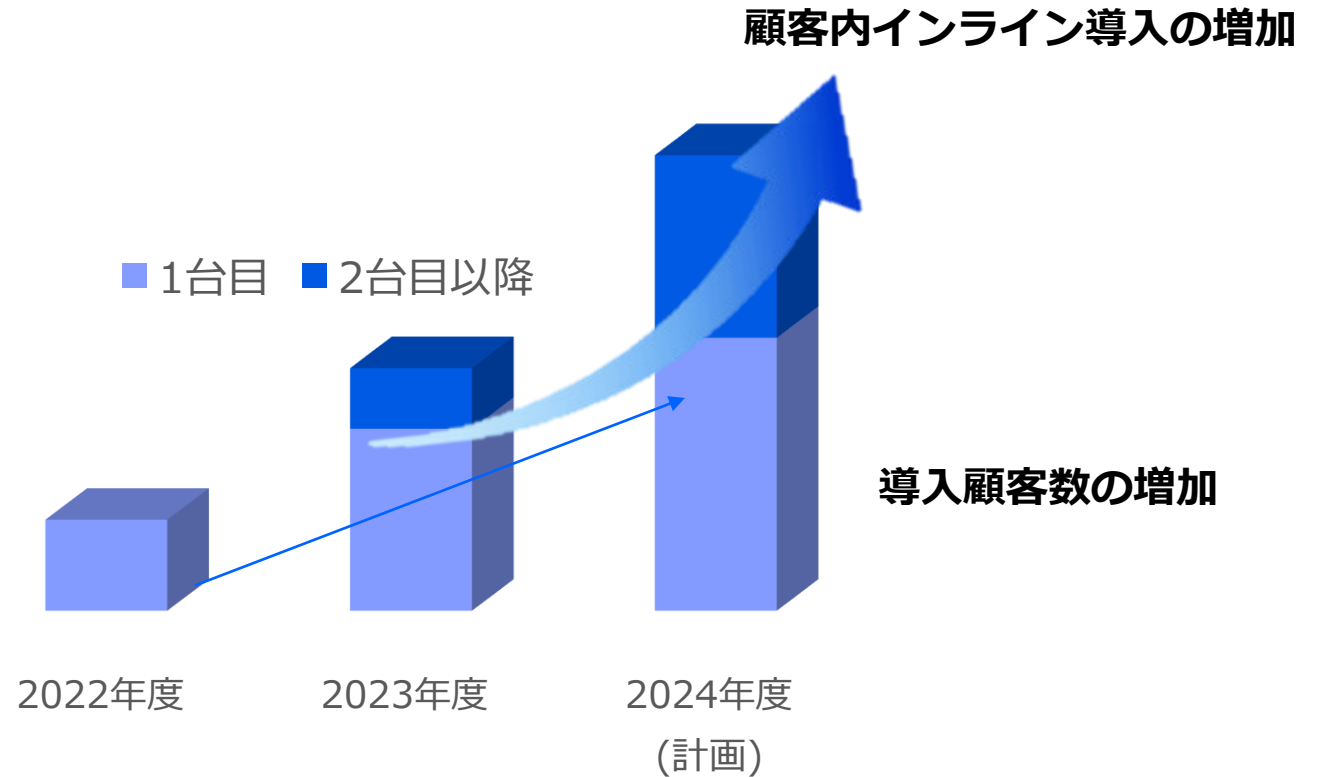


出典 2012-2022年：パチンコビレッジ <https://www.pachinkovillage.com/>
 2023-2024年：当社推定/予想値

対前年度比売上 **2.7倍**

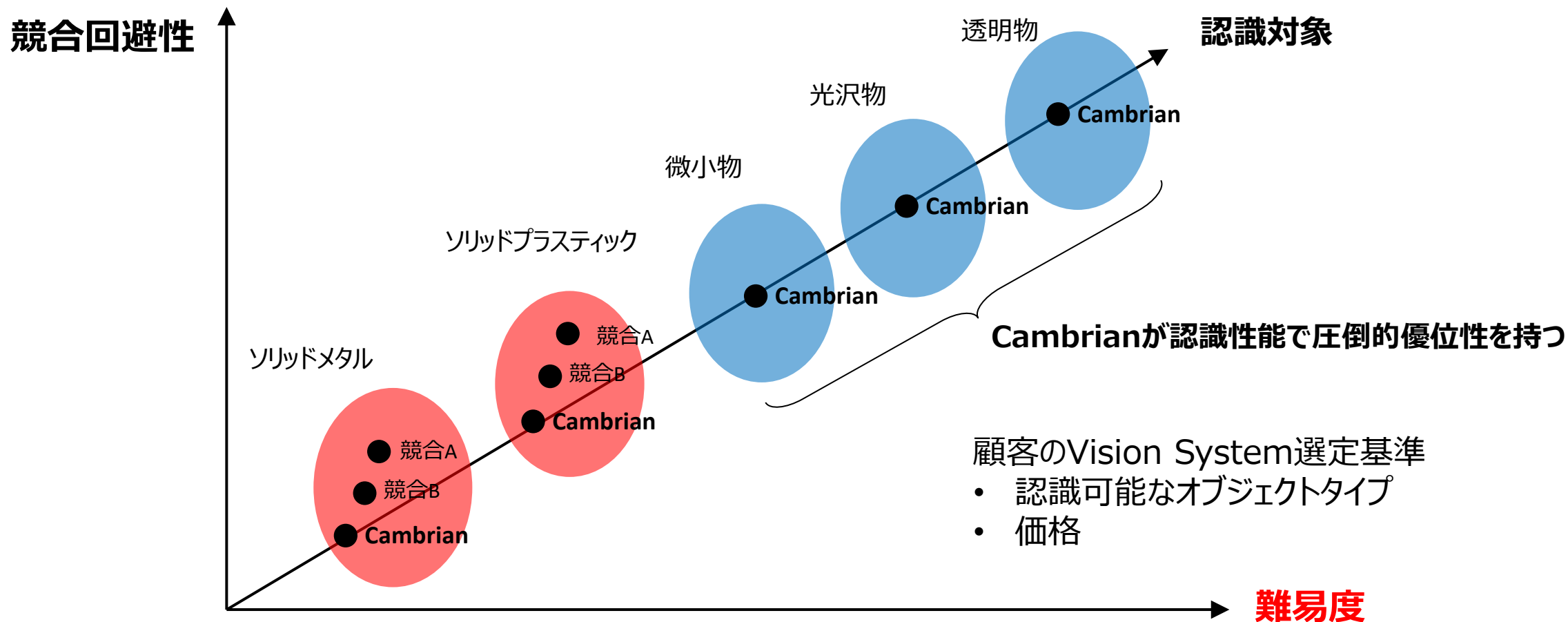


Cambrian Vision System



- 大手自動車、電機、部品、3品業界への導入が進む
- Cambrian販売代理店網の拡大

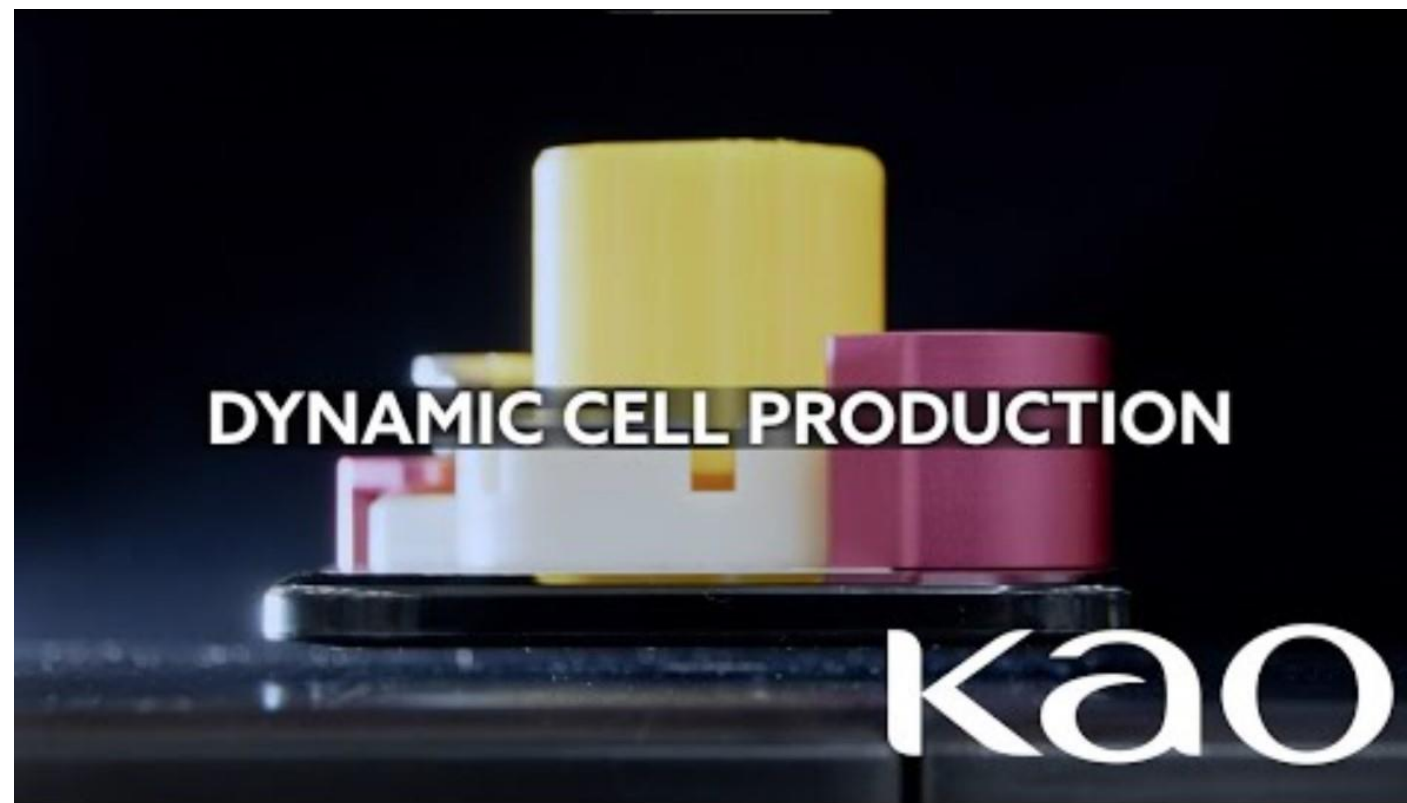
透明物等の高難易度ピックアップで競合他社に対し無比の優位性を確立



花王ダイナミックセル生産システム

少量多品種生産のための柔軟な次世代生産システム

KaO



<https://youtu.be/pYOgH94E6FY>

- 新たに5社のライセンス獲得（大手自動車、製造装置、清掃ロボット、AMRメーカー他）
- LiDARからカメラへの置き換えによるコスト低減に期待かかる
- 車体量産からのライセンス収入獲得を目指す



ZIA MOVE統合ロボット開発プラットフォームの特徴

- カメラベース（VSLAM）による廉価で高精度な自律走行ロボットを実現
- 自己位置推定、経路作成、走行までカバーする統合開発プラットフォーム
- 地図作成、障害物回避、特徴点分布可視化、マルチロボット制御等をサポート

- Visual SLAM、自律運転制御、AI解析を活用した映像点検ビジネス
- 大手協業先とビジネス検証を開始

【データセンター点検】



データセンター運営会社

【鉄塔点検】



通信インフラ管理会社
筑波大学と共同研究開発

【ビル内点検】



ゼネコン

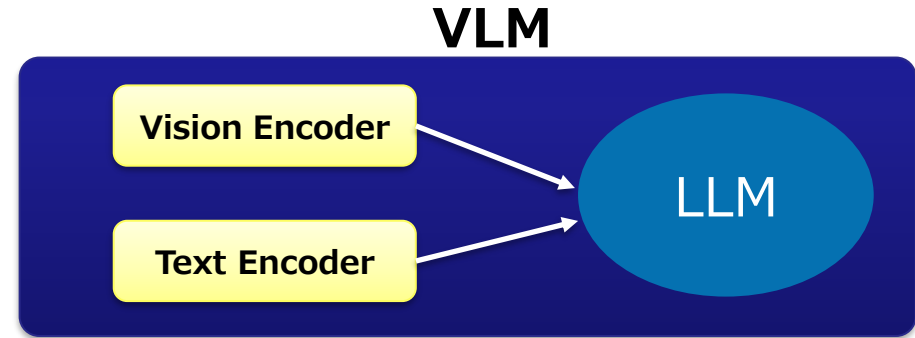
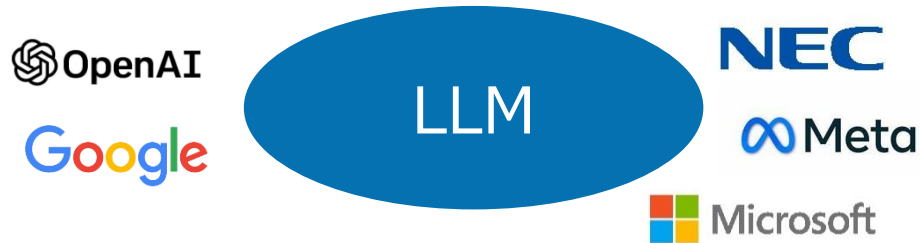
【半導体工場内搬送】



半導体製造システム会社

**ZIA MOVEとZIA SAFEの統合による高付加価値 映像解析サービスを
リカーリングモデルで提供**

生成AI技術をベースとした高度な安全運転支援システムを研究



入力：言語&画像 → 出力：言語(文章)&画像



質問	運転手は安全運転をしていますか？
回答	いいえ、運転手は安全な運転をしていません。画像では、女性が車に座り、携帯電話を見ながらハンドルを持っています。これは、彼女が道路や周囲に集中することから気を散らす危険な行動であり、事故のリスクを高めます。運転中は道路に完全に注意を払い、携帯電話の使用などの注意散漫になる行動を避けることが重要です。

生成AIを活用することで既存のDL技術(ex. CNN)では判別が困難な状況を判別可能

エッジ環境でも動作可能な生成AIを研究

既存のLLM/VLM

- メモリ量：巨大（数十GB以上）
- 推論処理：重い（高性能GPUを要する）
- 消費電力：高い（数百W以上）
- レスポンス：遅い（数秒～数十秒）



DMPの取り組み

低メモリ、低消費電力でありながら、
高速に動作可能なLLM/VLMを研究

既存技術をそのままエッジ環境で
動かすことは非現実的



Making the Image Intelligentのパーパスのもとビジネスを加速

- ZIA MOVE、ZIA SAFEプラットフォームビジネスの推進
- Cambrian Vision Systemの顧客内インライン導入の加速
- ロボティクスとセーフティ技術の融合による新たなビジネスの創出
- FA検査市場に向けた新たな製品の開発
- 次世代AI IP/半導体の開発
- 生成AIのセーフティ分野への応用と軽量化の取り組み

<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。